

01

川西市地域分権推進事業 ニュースレター

第1回地域夢・未来カフェ in 久代

地域分権制度の検討の一環として、地域課題の解決に向けた具体的な活動案を考えながら、地域分権制度についての意見をいただくため「第1回地域夢・未来カフェ in 久代」が開催されました。

日時：2012年11月21日（水）19:00～21:00

場所：久代会館

参加人数：市民12名＋市WGメンバー3名

当日のスケジュール

- 19:00 開会、あいさつ（政策推進室長）
- 19:05 地域分権制度の全体概要について
- 19:20 フォーラム及びテーブルワークの概要について
- 19:40 イントロ（川西クイズ）
- 19:45 テーブルワーク①『地域の課題について』
- 20:15 テーブルワーク②『実現に向けた取組について』
- 21:00 閉会

あいさつ・地域分権制度の全体概要について

政策推進室の石田室長からのあいさつの後、地域分権制度の構築に向けての説明がありました。地域分権が推進される社会的背景や必要性、制度の概要とともに、今年度策定される第5次川西市総合計画における地域別構想の位置づけについても触れられました。

また、これから3回にわたり開催される地域夢・未来カフェの目的や昨年度実施された地域別懇談会との関係などについても説明がありました。



地域分権制度とは

市の持続的な発展を図っていくためには、行政の力だけでは限界があります。そこで、これまで行政が主導して担ってきた地域の課題に対し、地域住民自らがその解決にあたるために、一定の権限や財源を地域へ移譲する制度です。

フォーラム及びテーブルワークの概要について

キックオフイベントとして9月15日に開催された「かわにし夢・未来フォーラム」の報告がありました。地縁型組織とNPOやボランティアなどのテーマ型組織の連携の必要性、面識社会の回復の重要性、市職員の果たすべき役割などについての意見交換が行われたとの説明がありました。

次に、カフェでのテーブルワークの方法についての説明がありました。まず、昨年度実施された懇談会の結果をふりかえり、「地域の課題」や「地域のありたい姿を実現するための取組」の内容を共有しました。その上で、2種類の色のシールを使って投票しながら、特に重要な課題や取組をみんなで議論し、検討していくという流れの説明がありました。

テーブルワークに入る直前には、イントロダクションとして、日本全体や川西市の状況についてのクイズが出題されました。



テーブルワーク

後半は、まず 2 つのグループに分かれてテーブルワークを行い、さまざまな意見を出した後に、全体で特に重要な課題と取組を投票しました。地域のつながりや交流については、課題と取組両方で重要度が高くなっており、高齢者への支援については課題で、緑化については取組でそれぞれ高くなっています。



◆地域の課題について（重要だと思う課題を1人3点選ぶ）

地域の課題	点数	地域の課題	点数
●地域コミュニティの強化	11	●子育て環境の充実	7
●高齢者の暮らしの支援	12	●環境衛生や騒音の改善	3
●安全性の向上	3	●近郊農業の活性化	4
●地域の安全確保	2	●その他	3

●追加された主な意見

- ・自治会は人材が不足している ・若い世代の自治会があるが、それ以外は高齢化が進んでいるので課題が違う ・自治会と子ども会の単位が違う
- ・PTA や子ども会が地域に入ってこない ・旧住民と新住民の交流が必要 ・行事にはもっと新しい人に来てほしい ・地域に参加する最初の一步が難しい
- ・マンションで丸ごと自治会に加入している ・高齢者の見守り(200 世帯中 30 世帯が一人暮らし) ・飛行機の騒音がひどい ・もっと親子の会話を！
- ・赤ちゃんの交流会を！ ・地域の人は交通の関係で伊丹の市民病院に行っている ・病院 ・公園がない地域がある ・久代いちじくカレーがある
- ・下での直売を上でもやってほしい！ ・上の地域は買物が便利だが下は不便 ・車の抜け道になっている ・犬の散歩やフンの放置などマナーが悪いなど

◆地域のありたい姿を実現するための取組について（重要だと思う取組を1人5点選ぶ）

実現に向けた取組	点数	実現に向けた取組	点数
●自然の大切さを感じられるために <21>			
自分が住んでいる家の周りから美しくしていく	2	移転跡地の緑化を進める	9
イチジク栽培を実体験したい人を募集して生産組合の役員で検討する	2	貸農園があれば農家の方と交流できる	5
ポイ捨てのないまちづくり、罰則をつくるなど	0	都市計画との調和	1
飛行場の移転、騒音レベルを低くする工夫など	2	住居地域と準工業地域を分けて水路を作る	0
●ふれあいがあり、ひとりぼっちにならないために <23>			
各自で積極的にあいさつする	0	高齢者との交流ボランティア活動を確立する	0
高齢者の集いの場づくり	4	地域みんなで助け合う(高齢者による子育て支援、若者層による高齢者支援)	2
地域別懇談会を何度かする(様々な年代で)	0	家庭内、リサイクル品交換ネットワークの保有	0
自治会、コミュニティで「あいさつ運動」を実施する	3	子どもの才能を発表する場と応援する場があれば良い	5
自治会、老人会、子ども会の交流(若者と老人の交流の場)	9	グラウンド、体育館を増やす	0
●誰もが住みやすいために <17>			
子ども達を地域の人達の手で見る	7	コンビニ、スーパーを誘致する	2
久代児童センターの利用(子育て広場)	0	企業誘致	0
安全に遊べる公園づくり	3	車いすで登れる坂道	5

●追加された主な意見

- ・いちじくカレーをもっと生かす！(1) ・青少年センターの見回りは青パトで実施する ・学童の下校時間が心配(1)
- ・無理せず下校時の見守りをしてほしい！(ちょっと家の前に出る、ウォーキングの時間を活用するなど) ・若い世代が住みやすいまちにする
- ・子どもと大人が交流する場をつくる(2) ・人材をコーディネートするしくみをつくる ・地域の人材を発掘する ・現代版の寺子屋をつくる
- ・にこにこ会(赤ちゃん交流会をボランティアで取り組んでいる) ・地域と学校の連携がうまくいっている(安全面・環境整備・学習環境)(2)
- ・直売を上地域でもやってほしい(1) ・空き家活用の取り組み(2) ・緑化(鳥取の花回廊のようなもの) ・農園を食育に生かす など